



給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動(退職・転勤・休職など)があった場合は、
翌月10日までに提出してください。

年度		1. 令和7年度		2. 令和8年度		3. 両年度	
特別徴収義務者 指 定 番 号							
担 連 当 絡 者 先	所 属						
	氏 名						
	電話番号						
(宛先) 今治市長		(特別徴収義務者) 給与支払者		所在地		〒	
令和 年 月 日提出		フリガナ		フリガナ			
		名 称 (氏 名)		名 称 (氏 名)			
		法人番号 又は個人番号		法人番号 又は個人番号		←個人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載	
給 与 所 得 者	フリガナ			(ア)		(イ)	
	氏 名			特別徴収税額 (年税額)		徴収済額	
	生年月日	年 月 日		旧姓 (年度途中に変更が あった場合に記載)		未徴収税額 (ア)－(イ)	
	個人番号					令和 年 月 日	
	受給者番号					異 動 の 事 由	
	1月1日現在 の住所					異 動 後 の 未徴収税額 の徴収方法	
	異動後(現在) の住所						

※ 未徴収税額(ウ)の徴収方法(該当する以下1、2、3のいずれかの場合)を必ず記入してください。

1. 特別徴収継続の場合		新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。	
新 し い 勤 務 先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指 定 番 号	新規	
	所在地	〒	
	フリガナ		
	名 称 (氏 名)		
法人番号 又は個人番号		担 連 当 絡 者 先	
		所属	
		氏名	
		電話番号	
受給者番号		納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	
		右から 番号を 記 入	
		1. 必要 2. 不要	

2. 一括徴収の場合		左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。	
理 由	右から 番号を 記 入	1. 異動が令和7年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)
		2. 異動が令和8年1月1日以降で、特別徴収の継続(転勤等)の申出がないため	円

※退職の日が1月1日～4月30日までの場合は、未徴収税額を一括徴収することが義務付けられています。(地方税法第321条の5)

3. 普通徴収の場合		
理 由	右から 番号を 記 入	1. 異動が令和7年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
		2. 令和8年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
3. 死亡による退職であるため		

相 続 人 代 表 者 (死亡退職の場合)	住所	〒	
	氏名	死亡者との関係	
	電話番号		

控え必要

※ 控えが必要な場合は「○」を記入してください。
控えは変更通知書と一緒に送付いたします。
お急ぎの場合は返信用封筒を同封してください。

※退職者については、この異動届出書とは別に、翌年の一月三十一日までに給与支払報告書(個人別明細書及び総括表)の提出をお願いします。